



監事監査報告書

平成 29年 5月 10日

社会福祉法人 絆福社会
理事長 田中 重樹 様

監事 出上 俊一 

監事 三好 隆夫 

監事監査を行った結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 平成 29年 5月 10日 (水) 14時 00分 ~ 17時 00分
- 2 場 所 グループホームふるさと桜 1階 多目的室
- 3 立会者 (職・氏名) 施設長 片庭 典子
(職・氏名) 施設長 大貫 智彦
- 4 監査結果 別紙のとおり

事 項	監 事 意 見
1. 定 款	社会福祉法改正に対応した定款に変更されています。
2. 役 員	役員変更登記処理も適宜行われています。新任期の登記は、H29年6月新評議員会後の理事会にて理事長を選出し適宜登記予定と確認しました。
3. 理 事	理事全員が理事会への出席をなされています。
4. 監 事	監事全員が理事会への出席をなされています。
5. 理 事 会	定款に記載のとおり開催、審議されています。
6. 人 事 管 理	介護職員の人材確保難の中、職員に欠員がでることなく適切に配置されている。
7. 資 産 管 理	<p>修繕積立金を昨年から積み立てていますので継続することに期待します。またこの先5年の内に築後20年～25年を迎えるので、大規模修繕に備えて、急な修繕の支出にも困らないよう準備して下さい。</p> <p>今までと同様に、建物・備品も大切に使用されていることが見て取れます。</p>
8. 会 計 管 理	<p>設備資金借入金及び長期運転資金借入金の単年度返済額が1億近く、返済比率が10%は厳しいと考えます。</p> <p>2～3年で返済終了する借入金もあるので、5年先までは新たな借入を控えるよう努めて下さい。</p> <p>居宅支援事業での介護支援専門員一人当たりの受持ち件数を増やすべきと考えます。</p> <p>また、デイ有瀬は開所以来、収支に問題が残りますが、利用者増を図る経営の工夫に期待します。</p>

<p>9. 施設 運営管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修は年2回受講するシステムで、内容も工夫されているので、上手く継続できることに期待します。 ・家族会1回、運営懇談会1回開催し、入居者・家族とのコミュニケーションを積極的に取っています。 ・前年度はグループホーム入居者の入れ替わり（医療的な要因）が多くみられたが、28年度は安定しています。稼働に大きく影響するので、現状を維持していただきたい。 ・認知症介護実践研修9名、認知症実践リーダー研修1名、認知症事業管理者研修4名が受講済で、毎年度継続して受講されている。認知症高齢者に対する処遇向上に期待します。
<p>10. 利用者処遇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上の勉強会も毎月なされ、ケアプランを軸に職員間のチームケアがなされています。看護、介護、また栄養との連携を図られていると評価します。 ・緊急の困難ケースも積極的に受け入れられ、個別処遇も意識し、実践されています。 ・季節の食材を意識した献立は費用的にも大変なところですが、それが「ふるさと」らしいサービスと思いますので、継続することを期待します。
<p>11. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法改正に伴い新たに評議員会の設置がなされたことを認めます。今後の評議員会、理事会の運営も大変ですが、定款掲載のとおり、適宜開催して下さい。

(7面)

監事監査意見書

平成 29年 5月 10日

社会福祉法人絆福社会

理事長 田中 重樹 殿

以上、平成 28 年度の社会福祉法人絆福社会の事業報告書、財産目録、貸借
対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、

適正 と認めます。

監事

出上 俊一



監事

三好 隆夫

